

# 新年あけまして おめでとうござい います



## 年頭のごあいさつ

葛巻町長 鈴木 重男

新年明けましておめでとうございませう。本年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ちあふれる素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。また、日頃から町政全般にご理解とご協力を賜っておりますこと心から感謝申し上げます。

### 医療・福祉・教育の充実 新たな歴史を刻んだ年

昨年は、長きにわたり住民の健康や暮らし、学びを支え続けてきた中核施設の建て替えが行われ、町に新たな歴史が刻まれた年でありました。医療では、町民や周辺地域住民の生命と健康を守り地域医療の中核を担ってきた国民健康保険葛巻病院が装いも新たに完成し、町民に親しまれる病院としてさまざまなニーズに応じた

サービスを提供する町唯一の公立病院として、待望のオープンを果たしました。福祉では、養護老人ホーム葛巻荘を移転新築し、広い敷地への整備で個室化が実現。入所者が安心して生き生きと暮らし続けることができる環境の改善を図ったところです。

教育面では、地域の念願でありました江刈小学校を新築し、児童が木の香りとぬくもりを感じながら快適に学習することができるよう町産材をふんだんに活用した学舎を整備することができました。

さらには、県内では初めてとなる葛巻高校生を対象とした公営学習塾「葛巻町学習塾」を町が開設し、生徒一人ひとりが抱く夢と未来の実現を後押しするため、学校と連携しながら、町の将来を担う子供たちのために

教育環境の充実を図りました。

### 継続した取り組みに 高評価で数々の受賞

昨年11月、東京で開催された地方自治法施行70周年記念式典の席上におきまして、天皇皇后両陛下のご親臨を仰ぎ、内閣総理大臣をはじめとする関係閣僚ご列席のもと、町が総務大臣表彰を受賞いたしました。

これは、第三セクターによる産業振興や交流人口の拡大、未利用資源の有効活用による新エネルギーの導入など、町の持つ多面的な機能と資源を最大限に生かした山村にしかできないまちづくりと、現在、進めている地方創生や少子高齢化・人口減少対策において優良でユニークな取り組みを実践していることが高く評価されたところです。

さらに、町は林道維持管理コンクール林野庁長官賞、町生活改善推進員協議会が南・賀屋賞、小屋瀬中学校が野生生物保護活動功労者表彰・文部科学大臣表彰をそれぞれ受賞したほか、町では3頭目となる乳牛の種雄牛誕生など、町のみならず町民が全国レベルでも活躍し、高い評価をいただいた年であったと

思っております。あらためまして、町民の皆さまのご活躍に心からお喜びを申し上げますとともに、常日頃からのためまぬご努力に敬意を表します。

### 約2年ぶりの人口増 取り組みによる成果

このような中、昨年11月末の町の人口が、前の月と比べ約2年ぶりにプラスに転じるという大変うれしいニュースがありました。これは、町総合計画に掲げる目指すべき将来像「未来を協創する 高原文化のまち」への取り組み、さらには町の最重要課題である人口減少に歯止めをかけるための取り組みの成果の表れであり、今後におきましてもこの流れを停滞することなく、さらに一歩前進するための努力を続けてまいりたいと考えております。

新しい年におきまして、町道茶屋場田子線の改良事業、江刈地区水道の整備事業の早期完成を目指すとともに、役場新庁舎の建設に向けた具体的な検討を進めるほか、新葛巻型酪農構想の実現に向けた事業の推進をはじめとする基幹産業の振興にも重点を置いた施策の実施、さ

らには、より生活に密着したソフト事業の充実も図りながら、町民がより安全で安心して暮らすことのできる町づくりに向け、積極果敢に挑戦してまいりたいと思っております。

### ワンランク上の町づくり 山村の機能と魅力を発信

21世紀の地球環境規模での課題とされる「食料・環境・エネルギー」のすべてに貢献できるのは私たちが住む山村です。山村が持つ機能と魅力を積極的に情報発信し、50年先も町民が町に誇りを持ち、「葛巻に住んで良かった」と思っていただけできるよう、そして「葛巻にしかできない」「葛巻だからこでできる」取り組みを皆さまと英知を結集しながら、さらにワンランク上を目指したまちづくりに挑戦してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力を賜りたいと存じます。

年頭に当たりまして、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もなお一層のご活躍をご祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

## 「未来を協創する 高原文化のまち」を目指して 山村の機能と魅力を発信